

高等学校 令和6年度

教科

国語

科目 古典演習

教科：国語

科目：古典演習

単位数：3 単位

対象学年組：第3学年 A組 E組 F組 G組 H組

使用教科書：（東京書籍「精選 古典探究 古文編・漢文編」）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】これまでで身に着けた言語能力の基礎の定着と、応用を身に着け、使いこなすこと。

【思考力、判断力、表現力等】言語によって自身の考えを発信し、相手の考えを聞く力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】言語によるコミュニケーションを図り、他の人との関係を構築すること。

科目 古典演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし 古典などを通した先人のものの見方 感じ方 考え方との関わりの中で伝え合う力を高め 自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ 我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
前期	「大鏡 肝試し・隆家と道長」 歴史物語を背景に注意しながら読み、作品についての理解を深める。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 本文中の推量を表す語や敬語の意味や用法などの文法事項を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】 花山天皇の言動について、これまで学習した古典作品における「帝」「天皇」の描かれ方と比較して考察し、文章などにまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 道隆・道兼・道長兄弟の生涯について調べ、エピソードがどのような部分を象徴しているかについて考察し、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。	○	○	○	6
	「長恨歌」 長編の古詩を読み、物語的な面白さを味わう。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に白居易の「長恨歌」について調べ、今までの学習を生かして、日本文学に大きな影響を与えた理由について考察しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	「源氏物語 【夕顔】 【賢木】」 作り物語を多面的・多角的な視点から読み、作品についての理解を深める。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作り物語を多面的・多角的な視点から読み、今までの学習を生かして、作品についての理解を深めようとしている。	○	○	○	10
	「荊軻伝」 『史記』を読み、荊軻の生き方を通して人間のあり方について関心を深める。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解し、さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 【思考力・判断力・表現力等】 史伝のおもしろさを味わうだけでなく、史伝から新たな知見を得、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めるとともに、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 表現に注意しながら登場人物の思いや行動の意味などを読み取り、自分の考えを文章にまとめ、他者の文章を読むことを通してさらに自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	10
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
後 期	「俊成髄脳」「無妙抄」「紫式部」「和泉式部日記」 表現に注意しながら読むことを通して、作品の特色を多面的・多角的に理解する。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力・判断力・表現力等】 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し学習課題に沿って作品に表れているものの見方 感じ方 考え方を読み取ろうとしている。	○	○	○	12
	「桃花源記」 話の展開を捉え、そこに描かれている世界を読み味わい、ものの見方感じ方を豊かにする。	・教科書に基づき、文章を読解するための解法やその内容	○	○	○	【知識・技能】 「業」「具」「道」「終」の文中での意味を理解し、その意味をその漢字を使った熟語で表すことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えるとともに、自らが考える理想郷について考えを深め、その内容を説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 老子と陶潜が描く理想郷について比較、検討して自分の考えをまとめ、他者の考えを通してさらに自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	入試問題演習	総合問題を解く 発展問題・大学入試問題を解く	○	○	○	【知識・技能】 身に付けた知識を活用し、問題に正答できる。 【思考・判断・表現】 正答するために必要な知識を正しく活用し、解法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の進路を見据え、積極的に問題演習等に取り組んでいる。	○	○	○	30
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	入試問題演習	総合問題を解く 発展問題・大学入試問題を解く	○	○	○	【知識・技能】 身に付けた知識を活用し、問題に正答できる。 【思考・判断・表現】 正答するために必要な知識を正しく活用し、解法を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の進路を見据え、積極的に問題演習等に取り組んでいる。	○	○	○	31
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
			○	○	○		○	○	○	合計 117